

第12 - G24号

2013年1月16日

小田急のご利用であなたの日常生活をエコに。

小田急グループと環境省が 「移動」を「エコ」に。 smart move でコラボ！

～環境PR列車を運行し、環境に優しい「スマートな」移動を周知します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）では、2013年1月18日（金）から約1ヶ月間、環境省が地球温暖化防止を目的として推奨するスマートムーブとコラボレーションした環境PR列車を運行します。

小田急グループはお客さまが移動する際にご利用いただくことで、地球温暖化防止につながる環境負荷の少ない公共交通機関を中心に営業しています。環境PR列車内では、スマートムーブの取り組みのPRにより、普段意識をせずにご乗車いただくこと自体がスマートムーブであることを広く周知します。さらに、スマートムーブの提唱する5つの取り組みにあわせた小田急グループでの取り組みについてもご紹介し、車内をスマートムーブ一色にします。

なお、この取り組みは、新宿西口地上改札口横、成城学園前駅のデジタルサイネージでもご紹介します。

環境PR列車運行の概要と小田急グループの5つの取り組みについては、下記のとおりです。

（参考）

スマートムーブとは環境省が、日々の「移動」に着目し、CO₂排出が少なく、快適・便利で、しかも健康にもつながるライフスタイルを「smart move」と名づけ、賛同企業・団体と連携しながら、公共交通機関の利用や自転車活用、自動車の利用方法の工夫など、移動にまつわる様々な行動への参加を呼びかけるものです。

記

1. 環境PR列車

3000形車両2編成 8両、10両を各1編成

（中吊り、ドア横、窓上の広告枠にポスター等を掲出します）



2. 運行期間

2013年1月18日（金）～約1ヵ月間

3. 小田急グループの smart move 5つの取り組みについて

公共交通機関を利用しよう
(電車やバス等の利用)

**鉄道(小田急電鉄、箱根登山鉄道、江ノ島電鉄)
バス(神奈川中央交通、小田急バス、立川バスなど)**

例えば
小田急電鉄(省エネ車両・車内LED化)、小田急バス(ハイブリッドバス)、小田急交通のVSEタクシー(ハイブリット車)、神奈川中央交通(ツインライナー)などの導入により、さらなる環境負荷の軽減に努めています。



地域や企業の移動・交通におけるCO2削減の取り組みに参加しよう
(カーシェアリング、コミュニティサイクル等)

**マイカーと公共交通機関の組み合わせ
パーク&ライドを推進!**

例えば
小田急百貨店 町田店では3ヶ所の小田急線駅付近の駐車場でパーク&ライド。江ノ島電鉄では駐車券と鉄道乗車券がセットになったお得なきっぷもあります。



自動車の利用を工夫しよう
(エコドライブ、エコカーへの乗り換え)

**エコカーはCO2を大幅に削減できるだけでなく
エネルギー消費を抑えることでランニングコストを節約でき、経済的!**

例えば
小田急電鉄が営業する月極駐車場(成城学園前・鶴川)に電気自動車の充電器を設置しました。



自転車、徒歩を見直そう
(自転車や徒歩での移動の推奨)

徒歩や自転車で小田急沿線の自然の恵みを体感!

例えば
「BLUE 多摩川アウトドアフィットネスクラブ」のウォーキングプログラムやレンタルバイク。小田急沿線の身近な自然や文化財などを「小田急沿線自然ふれあい歩道」で紹介しています。また小田急線高架下には駐輪場を設け、駅までのアクセスを向上させています。



長距離移動を工夫しよう
(エコ旅行・エコ出張等)

箱根、江の島、大山へは公共交通機関で!

例えば
大自然の眺望を味わえるロープウェイや海賊船など箱根の公共交通機関はとても充実しています。旧街道や杉並木などハイキングに便利でお得なカーボンオフセット付の割引乗車券「箱根旧街道1号線きっぷ」なら、電車やバスからのCO2をオフセットできます。

